



「卒業を祝して」

PTA 会長 K・N

置戸高等学校3学年の皆さん卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、お子様が立派に成長され、卒業という今日の日を迎えられたこと、本当に心よりお祝い申し上げます。

校長先生をはじめ、先生方におかれましては、「自ら考え、自ら律し、自らを創る」を目指した心温まる指導を行っていただき、深く感謝申し上げます。また日頃より置戸町の皆様におかれましては、置戸高校の生徒を温かく見守っていただき、厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さんが介護福祉士を目指してここ置戸高等学校に入学した3年前。慣れない学校生活も徐々に仲間たちと打ち解け合い、介護福祉の学習に取り組み、長期の介護実習を行い、そして今年1月に国家試験に臨んだこと。本当に大変な3年間でしたね。そして介護実習のための許可テストも相当大変だったと思います。皆が毎日遅くまで集まって練習し、最後まで全員合格を目指して努力したことは良い思い出になっていることでしょう。皆さんの合格の裏には指導してくれた先生方がいます。時に厳しく指導したかもしれません。それは皆さんが今後、実習や社会に出ても困らないための指導であることを決して忘れてはいけません。そしてこの置戸高等学校で学んだことは、これからの進路に役立つものと確信しています。これからは次の目標を掲げて、さらなるステップアップを心掛けてください。

最後に卒業生の皆さん、これからは大人として責任と自覚を持ち、さらなる成長と輝かしい未来になることを切に願っています。そして、今後の活躍を期待しています。

卒業おめでとう！！

「卒業に寄せて」

校長 A・K

晴れて高等学校の課程を修了した三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

また、保護者の皆様方には、お子様たちの卒業を心よりお祝い申し上げますとともに、これまで本校の教育活動に御理解と御協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。

さて、三年前の入学式で当時の長尾校長は次の言葉を皆さんに贈っています。

置戸高校で福祉社会を担う人材となるための取組をしてください。そのために人としての心の豊かさを身につけるコミュニケーション力を養ってください。そして辛いことで心を痛めそうな時は、いつでも先生方に相談してください。と話されました。

あらためて卒業生の皆さん、置戸高校の三年間はいかがだったでしょうか。自ら納得のいく高校生活でしたか。やり残した思いがある方はいますか。あるいは既に次なるステージに向けて取り組んでいる方が多いでしょうか。いずれにせよ、皆さんには置戸高校を去るべき、出立の時が来たのです。

皆さんは中学一年次から covid-19 がパンデミックと言われ世界的に流行し、数多くの制限ある中での生活を強いられました。さらに自然災害では、地震や線状降水帯、JPCZ による今までにない様々な災害を経験しながらも、それに対応してきた世代でもあります。

これまでの経験から皆さんは多くの事を学び、そのことを高校生活に生かし14名がそれぞれ14色の個性を生み出して学年としてまとまりました。

そして、今日まで諸先輩によって連綿と受け継がれてきた、置戸高生であるという矜持を持ち、伝統と歴史に新たな1ページを残しました。

皆さんがこれから進む、福祉や医療、栄養士や教育者への道も、今まで経験のないことへの対応力が求められますが、自分らしさを大切にして生涯学びつづける姿勢を持ち続けて欲しいと思います。

結びとなりますが、皆さんが今後一層変化の激しい、その道の先を切り拓き、逞しく様々な課題に挑戦し歩まれることを期待しますと同時に、保護者の皆様の御健勝を祈念し、これからも本校に温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

「2年生での学びと来年への決意」 2年 O・K

2年生になってからは、他の科目と比べ介護技術を学ぶ時間が多かったです。私は介助をすることは好きなのですが、手先が不器用なことや私自身の雑な性格により介助をうまくできず悩みました。2年生では許可テストという実習に行く前に介護技術を確認するためのテストがあるのですが、合格するために多くの介護技術の課題があり、それを解決するためにクラスでは「2年生全員で協力しよう」という雰囲気がありました。許可テストは実技だけを見られるのではなく、クラスの協調性や追い込まれたときに自己中にならず周りに配慮できるかが試されていたと思います。なかなか合格できず焦る人、うまくできるか不安でたくさん練習したい人。これらの感情を全員が持ちながらも、その中でお互いに配慮し、みんなで受かるという意識を持っていたと感じます。また、自分のもっともよい介助が焦らずできるか話し合い、みんなで合格できるように練習しました。許可テストの経験は来年度の始まりから国家試験の日まで活かされると思います。もしかしたら、なかなか合格点に届かず焦って勉強に集中できず、本番で緊張して自分の本領を発揮することができなくなってしまうかもしれません。そうならないためにも、今回の許可テストは追い詰められてもクラスの協調性や雰囲気不安や焦りを乗り越えられるように成長する機会だったと思います。この経験を活かし、来年は人生のかかった大事な時期なので、9人全員で乗り越えていきます！



2年生模試



探究チャレンジオホーツク



東相内中学校
出前授業

「介護実習で学んだこと」

1年 I・Y

私が5日間の実習で学んだことは、利用者様一人ひとりに合った話し方や聞く態度をつくるということです。

私たち1年生は、コミュニケーションを図ることが得意な人と得意ではない人の差が激しく、得意でも気が緩んでしまうと口調が強くなってしまったり、苦手だとその場に棒立ちになってしまうことが多々ありました。実習でも、いつも指導していただいていた先生方がおらず、利用者様との会話内容に困り、無言が続いてしまう場面がありました。今回は実習生という立場で介護現場を実際に見て学ばせていただき、分からないところやレクリエーションの進行など、様々なところで支えてくださり、施設の方にはとても感謝しています。そして、「人となりの介護」という言葉を教えていただきました。“認知症の人”とひとくくりにするのではなく、その人の元々の性格に合った声かけや介助が必要ということ、その場に応じた対応をすること、その状況に合った聞く姿勢や話し方をする必要性を学ぶことができました。2年生では、コミュニケーションだけではなく身体介助も行い、大体の人が地元での実習になると思うので、みんなで協力して頑張っていきたいです。



1年生
実技



実習前日！



初めての
実習

「介護福祉士国家試験の受験を終えて」 3年 T・H

私たち3年生は、1月26日に置戸高校入学時から目標としてきた介護福祉士国家試験を終えました。国家試験までの道のりは、1年生の時は長いと感じていましたが、2年生の後半から急に時間が早く進んだように感じ、3年生の後半までは一瞬でした。先生方が「国家試験まで長いようで短い」と言っていたのはこういうことか、と実感しました。2年生からは国家試験対策として本格的に模試や解説も始まりましたが、その頃は正直国試の実感はないままです。そんな感情の中で、より全力を尽くそうと思えたのは解説担当になっていただいたM先生が存在があったからです。時間がある時は昼休みも放課後も勉強に付き添ってくださいました。だからこそ、それに見合う頑張りを見せようと思えたし、たくさん褒めてくださったり、解説ノートに私の好きなキャラクターのシールと一言を添えて応援してくださったりしたことで、もっと頑張ろうと思えました。また、印象強い語呂合わせや体で表現して覚えるという教え方は私にとって覚えやすく、最高の楽しい勉強時間になりました。国家試験当日も全力を出せた一つの理由は、近くでずっと応援してくれたM先生のおかげだと自信をもって言えます。自信のなかった私を支えてくれて、自信をもつことのできた私を信じて国家試験に送り出してくれて本当にありがとうございました。



「卒業にあたって」 3年 A・K

今までの3年間を振り返ると辛いこともたくさんありましたが、その分楽しいこともたくさんあった3年間でした。入学した頃は知っている人も話せる友達も少なく、不安な毎日が続きました。1年生の冬休み前から本格的な実技が始まり、項目テストにもなかなか受からず苦戦する毎日でした。2年生では許可テスト、3年生では7週間の実習と国家試験があり、コロナに罹ったり体調を崩したりすることも多くなりましたが、そんな中でも14人で協力し、1つ1つのことを乗り越えることができました。14人が自分のことだけを考えるのではなく、周りのクラスメイトのことを考えながら行動することができたからだと思います。私は置戸高校での3年間を通して、強い気持ちを培うことができました。そのおかげで実習など辛いことがたくさんありましたが、強い気持ちで乗り越えることもできました。大学に進学した後も、置戸高校で学んだことを思い出して頑張りたいです。これから私たち14人は、就職や大学など別々の道に進みます。場所は違っても、これからも置戸高校で学んだことを忘れず、日々成長できるように頑張っていきます。



「同じ空の下 いつも繋がっている」 3年保護者代表 A・M

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、本日まで支えてこられた保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

3年前の今頃は、高校受験の合格発表を前にドキドキしながら過ごしていましたよね。全道各地から集まった14名。たくさんの思い出ができた3年間となったのではないのでしょうか。一緒に入学した14名が誰も欠けることなく卒業を迎えられることはとても素晴らしいことだと思います。きっと皆さんには、私たちには分からない強い絆で結ばれているのでしょうね。福祉科に進むと決めた日はそれぞれ違うと思いますが、この先、就職・進学してから、困難なことがあったときにぜひ思い出して下さい。福祉の世界に飛び込むと決めた日のことを。そして置戸高校で3年間、頑張ってきたことを。自分の家を出て寮生活をする大変さ、甘えたいのに親が近くにいないもどかしさ、思春期と呼ばれるこの年代に3年間頑張れたことは皆さんの誇りとなりこれからも強い心をもって乗り越えていけると信じています。ここでの出会いをこれで終わりにしないで、これからも仲間として繋がりをもってってください。そしてこれからはそれぞれの場所で新しい生活が始まります。いつまでも皆さんには置戸高校の仲間や先生方、置戸町の方々、保護者がいるということを忘れないで。

皆さんのこれからの、素敵な出会いと笑顔であふれますように。また、ご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

「新たなステージで」 3年担任 J・Y

卒業生の皆さん、そして保護者の皆様方、ご卒業おめでとうございます。無事に今日この日を迎えることができたことを、心よりお祝い申し上げます。

保護者の皆様には3年間、あらゆる場面で本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、お子様の成長を一番に支え続けていただきました。最後まで温かく見守っていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さんの日々の中には喜びだけではなく、悩みや辛くてくじけそうになることも多々あったと思います。それでも、いつも14人で助け合い団結し、沢山の壁を乗り越えてきました。この3年間で入学時には想像もできなかった姿が見られ、介護専門職を志す者として、人として大きく逞しく成長してくれました。

私自身、皆さんと共に過ごした日々を振り返ると、皆さんの成長に携わり間近で見守れたことが何よりの喜びで、全ての時間が大切な宝物です。

これからも新たなステージでさまざまなことに挑戦し、成長し続けることを忘れず、大きく羽ばたいてください。それぞれの場で活躍することを願っています。

最後になりますが、置戸町をはじめとする関係各機関の皆様からのご支援、ご協力に深く感謝申し上げますとともに、卒業生の皆さん、そして保護者の皆様のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。

PTA 事務局より

令和6年度 会務（活動）報告・予定

年 月 日	記 事	
R6. 4月10日	令和6年度 入学式	(本校体育館)
R6. 4月27日	授業参観、PTA総会、PTA役員顔合わせ、保護者懇談会	(置戸高校)
R6. 5月27日	北海道高等学校PTA連合会北見支部総会	(北見市)
R6. 6月8～9日	北海道高等学校PTA連合会(令和6年度第73回総志大会)	(北見市)
R6. 8月22～23日	全国高等学校PTA連合会大会(令和6年度第73回茨城大会) (出席者: なし)	(茨城県)
R6. 8月23日	令和6年度 第1回PTA役員会	(置戸高校)
R6. 9月26日	PTA研修会	(置戸高校)
R6. 9月26日	PTAだより 第131号発行	(町全戸回覧)
R6-10月	令和6年度北海道高等学校PTA連合会北見支部研修会 (出席者:)	()
R7. 2月26日	令和6年度 第2回PTA役員会	(置戸高校)
R7. 3月1日	第59回卒業証書授与式	(本校体育館)
R7. 3月1日	PTAだより 第132号発行	(町全戸回覧)
R7. 3月	令和6年度 第3回PTA役員会	(置戸高校)

今年度の進学・就職先は以下の通りです。

■大学

- 北海道医療大学 看護福祉学部 福祉マネジメント学科
- 北海道文教大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻
- 北海道文教大学 人間科学部 健康栄養学科
- 北海道文教大学 人間科学部 こども発達学科

■就職（管内）

- 日本赤十字社置戸赤十字病院
- 社会福祉法人きたの愛光会 特別養護老人ホームこもれびの里
- 社会福祉法人めぐみ会 特別養護老人ホーム北寿園
- 社会福祉法人北海道仕愛会 特別養護老人ホーム光の苑

■就職（道内）

- 医療法人溪仁会 札幌西円山病院
- 社会福祉法人真宗協会 特別養護老人ホーム帯広慈恩の里

